

さくら



令和7年10月24日(金)

進路選択



朝夕の空気が冷たく感じるようになりました。先日の全校集会でも伝えましたが、体調管理をしっかりと、風邪をひかないようにしましょう。

さて、3年生にとっては、進路選択の時期が近づいてきました。体育大会が終わった次の週には進路懇談が始まります。気持ちをしっかりと「進路」に向け、自らの意思で、未来を切り開くための選択をしてくれることを願います。本日は、進学を中心に、進路選択において皆さんに留意してほしい4つのことを伝えます。1・2年生の皆さんもしっかり読んでください。

1 学力をつけるため「学校の授業」を大切にする

入試で合格するための学力をつけるうえで、最も肝要なのは、日々の授業を大切にすることです。「塾で勉強しているから大丈夫」ではだめです。時折、授業中に居眠りをしている人を見かけますが、大丈夫でしょうか。真剣に授業を受ける。そして理解できなかったところは、その日のうちに教科担当の先生に質問に行く。これだけで学力はぐんと高まります。

2 「いける学校」ではなく「いきたい学校」を選択する

入試では、合格基準点を上回らないと合格できません。今はこれだけの点数しかとれないので〇〇高校へいくしかない。でも、本当は□□高校へ行きたい。このような考え方で、「いきたい学校」ではなく「いける学校」に入学して、そこでも水が合わなければ、高校の3年間で全うすることができなくなります。自分のいきたい学校はどこなのか。そしてその学校へいくためにはどうすればよいのかをしっかりと考え、適切な行動を起こしてください。

3 いきたい学校を選ぶために

高校や高等専修学校など、これから進む道は、皆さんが今後の人生で何を学び、どんな力を身につけたいか、そして将来どんな大人になりたいかを形作る場所です。友達が行くから、親に勧められたから、家から近いから、という理由だけで決めるのはやめましょう。大切なのは、「自分は何に興味があるのか」「将来、どんな仕事に就きたいのか（今は漠然としていても構いません）」「この学校でどんなことを学びたいのか」という、皆さんの思いに従うことです。そのために、積極的に学校説明会に参加したり、パンフレットを隅々まで読み、いきたい学校のことをしっかり知ることが大切です。そのうえで、「この学校でなら、自分は成長できる」と確信できる道を選んでください。

4 「相談」そして「自ら決断」

進路選択は皆さん一人だけで行うものではありません。皆さんのことを一番よく知る保護者の方、先生方の意見は、皆さんにとって貴重なものです。不安や迷いがあるなら、一人で抱え込まず積極的に相談してください。多様な視点でアドバイスを受けることで、より深く自分の進路について考えることができるでしょう。しかし、他者の意見を聴くことは大切ですが、最終的な決断を下すのは皆さんです。

皆さんの進路選択はゴールではなく、未来への一歩です。自分の人生を真剣に考え、悩み、そして決断するこの経験は、皆さんが大人になるための貴重な糧となります。皆さんが自信を持って未来へ進めるよう、私たちは皆さんをバックアップしていきます。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

